

高知県と特定非営利活動法人ジャパンハートとの 大規模災害時等の支援に関する協定について

高知県保健政策課

1 「大規模災害時等の支援に関する協定」の締結

■締結日 令和7年3月18日

■連携内容

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 医師、看護師、調整員等の派遣による被災者等への医療活動及び公衆衛生等の分野の活動2 傷病者及び被災者の搬送支援3 1及び2のほか、支援に関して高知県と団体が協議した事項 |
|--|

2 特定非営利活動法人ジャパンハートについて

■住所 東京都台東区寿1丁目5-10 1510ビル3階

■理事長 吉岡 春菜

ジャパンハートは、小児外科医である吉岡秀人氏が自身の長年の海外医療の経験をもとに、医療支援活動のさらなる質の向上を目指して2004年に設立した「日本発祥の国際医療NGO」。東南アジアを中心とする国内外で、小児がん手術などの無償の高度医療含む治療を年間約35,000件実施しており、累計数は30万件を超える。(2024年3月時点)

また、国内およびアジア諸国で大規模自然災害が発生した際には、医師・看護師・調整員から構成される医療チームを派遣し、被災地での医療支援を行っている。国内では、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震のほか、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生施設などにも出動している。

3 本協定締結の経緯

本県は、能登半島地震の状況を踏まえ、災害発生時の医療救護活動等の充実を図るため、災害支援活動について豊富な経験等を持つ民間の医療支援組織との連携体制の構築に取り組んでいるところである。

そのような中で、ジャパンハートにおいては、南海トラフ地震発生時に本県の被害が大きいことが想定され、最も支援の必要な県の一つであると判断するとともに、ジャパンハートの災害対策の責任者が本県出身という縁もあり、活動内容や連携方法について確認を行い、協定締結に至ったもの。

なお、地方自治体とジャパンハートとの平時からの連携や大規模災害時等の支援に関する協定は、高知県が全国で3例目となる。

4 ジャパンハートによる災害支援

ジャパンハートは、被災者だけでなく支援者のサポートも行う。特に、急性期から亜急性期にかけての避難所支援に強みがある。地域に寄り添った活動を展開するために、スタッフ個人の活動期間をできる限り長く確保するなど、他の医療支援チームと比べ活動が長期であることが特徴。

令和6年の能登半島地震では、1月4日から4月20日までの間に避難所・診療所への看護師常駐支援及び避難所巡回診療を実施。6月以降は、社会的孤立と災害関連死の防止のため、地域の保健師と連携し、仮設住宅入居者のコミュニティづくりの促進や潜在的な健康問題（医療、介護、福祉面）の拾い上げを目的としたサロン活動を定期的に実施している。